

荒川区(東京都)の一体的実施

平成25年12月2日事業開始

区役所庁舎内に「就労支援コーナーあらかわ」を開設し、区とハローワークによる生活保護受給者、住宅支援給付受給者等に対する一体的支援等を効果的・効率的に実施

区

福祉サービス、相談の実施等

① 事業内容

- ・生活保護受給者、住宅支援給付受給者、児童扶養手当受給者及びこれらの申請者、相談者等に対する支援

② 協定・事業計画

- ・荒川区長、東京労働局長及び足立公共職業安定所長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を荒川区、東京労働局及び足立公共職業安定所の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・荒川区職員、東京労働局職員及びハローワーク足立(足立公共職業安定所)職員をメンバーとする運営協議会を設置(荒川区福祉部長が会長)



国

職業紹介・職業相談の実施等

福祉担当課が入居する庁舎に「就労支援コーナーあらかわ」を設置。身近な区役所で、原則予約制・担当者制で国の職員が対応し、福祉から就労までの一体的支援等を実現。

(1) 実施体制

区		国
・生活福祉課	生活支援相談員 2名 面接相談員 8名 就労支援専門員 2名	・就職支援ナビゲーター 2名
・子育て支援課	母子自立支援プログラム策定員 1名	・求人情報提供端末2台、職業紹介端末2台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	平成25年度事業目標	取組状況(平成26年3月末時点)
新規支援対象者数	生活保護受給者等に対する就労支援(支援プラン策定)を新たに年間70人以上実施する。	支援プラン策定者数 129人
	12月事業開始のため4ヶ月間の目標	12月開始のため4ヶ月間の実績
就職率	就労支援の対象として支援プランを策定した者の就職率 ・60%以上	就職率 24.0% <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 支援プラン策定者数 129人 就職者数 31人 </div>
	12月事業開始のため4ヶ月間の目標	12月事業開始のため4ヶ月間の実績

一体的実施事業による就職成功例

男性：50歳 希望職種：清掃、調理補助

○ 本人の状況・背景

- ・パチンコ店のホール担当（正社員）として10数年勤務。けがで離職後、保護申請。

① 抱える課題

- ・生保受給歴が長い。社会へ出る事が不安。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・働くことへの不安感や恐怖心を軽減することが重要と考え、ケースワーカーの意見を聞き、本人の同意を得て進める。
- ・パチンコ店での経験から同職種の清掃は熟知していたため、これに特化して案件を検索。

③ 結果

- ・パチンコ店での清掃（パートにて採用）
※ 支援期間 2カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・まずは「目標」とした一歩のために、背中を押すことができた。

○ 本人のコメント

- ・こちらの話をよく聞いていただけた。
- ・リラックスした雰囲気でした。

女性：41歳 希望職種：一般事務

○ 本人の状況・背景

- ・一般事務（パート）にて就労。自己都合にて退職。就労できず保護申請。配偶者も無職。子供2人。

① 抱える課題

- ・事務希望だが採用されない。他職種に妥協しない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・語学を生かした仕事を希望しているため、「事務」以外にも生かせる求人提案。
- ・不採用の連続で、精神的に落ち込んでいた時期があったが、励まし寄り添いながら求職活動を続けた。
- ・求職活動中、本人も語学力が落ちないように勉強していたので応募書類にもその旨を記載する様、指導。

③ 結果

- ・訪日外国人対象のジュエリー販売（契約社員）
※ 支援期間 3カ月半

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・「事務」はもとより「語学を生かす」という幅広い職種への応募が採用へつながった。

○ 本人のコメント

- ・ひとりでは就職活動は続かなかったと思うので、一緒に求職活動をしてもらえたのが良かった。